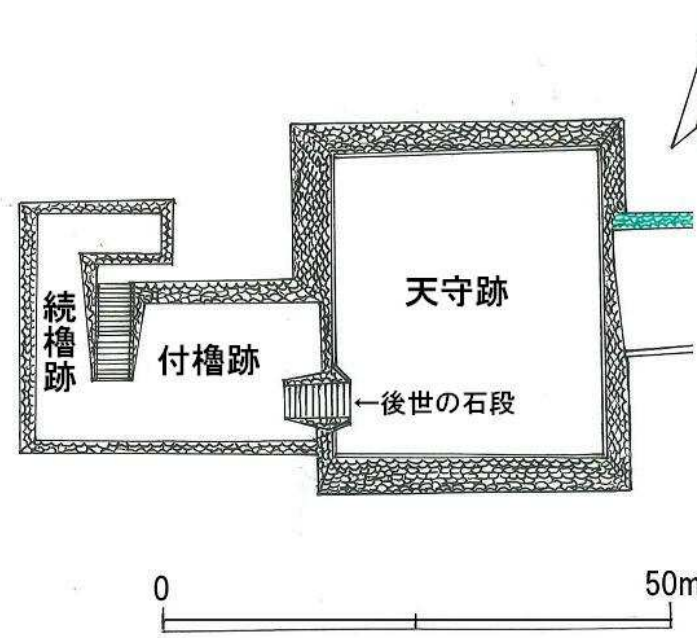


佐賀城天守台発掘調査

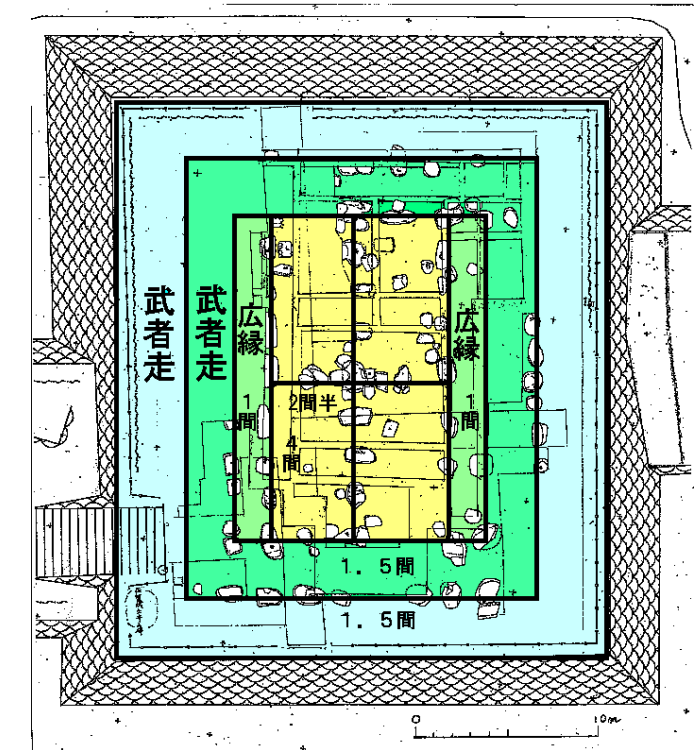
現地説明会資料 平成25年11月3日
佐賀市教育委員会

佐賀城年表 佐賀市史編さん委員会「佐賀市史」 第1・2巻 1977年ほか

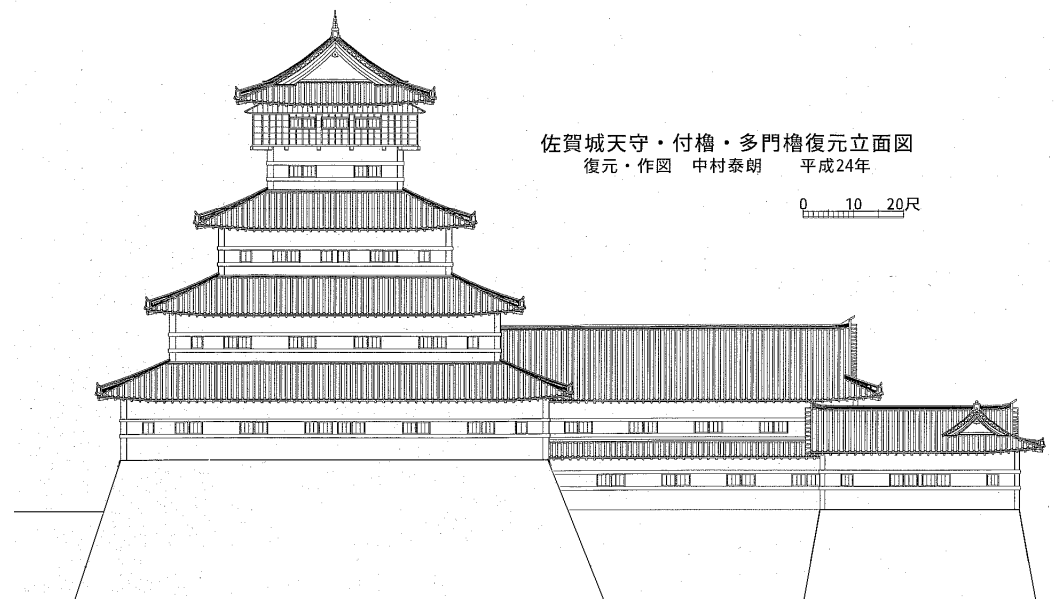
慶長 12(1607)年	西ノ丸隅櫓が建てられる。天守の瓦を焼き始める。
慶長 13(1608)年	鍋島直茂・勝茂父子による佐賀城惣普請が始まる。国中の農民を動員して四方の堀を掘り始める。
慶長 14(1609)年	天守の普請が行われる。天守石垣の石は、川上(佐賀市大和町)から運ばれる。
慶長 16(1611)年	佐賀城惣普請が完了し、勝茂が本丸へ移る。
承応 2(1653)年	二ノ丸の作事が始まる。
万治 2(1659)年	天守の修理が行われる。
貞享元(1684)年	天守の修理が行われる。
享保 11(1726)年	天守・本丸・二ノ丸・三ノ丸がほぼ焼失する。
享保 13(1728)年	二ノ丸が再建される。(本丸・天守の再建は見送られる。)
宝暦 5(1755)年	三ノ丸が再建される。
天保 6(1835)年	二ノ丸が焼失する。7月、十代藩主直正が本丸・天守の再建計画を表明する。
天保 8(1837)年	本丸上棟。
天保 9(1838)年	本丸が再建される。天守は再建されなかった。
明治 7(1874)年	佐賀の乱(佐賀戦争)で、二ノ丸・三ノ丸が焼失する。
明治 20(1887)年	天守台に佐賀県立測候所が開設される。
平成 16(2004)年	佐賀県立佐賀城本丸歴史館が開館する。



第1図 佐賀城天守台測量図(縮尺不同)



第2図 天守一階平面図(縮尺不同)



第3図 佐賀城天守・付櫓・続櫓復元図(縮尺不同) 広島大学院三浦正幸教授提供



第4図 付櫓の礎石

つけやぐら つづきやぐら 付櫓・続櫓の調査

えんれき
天守と同じく円礫を敷き詰め
そせき
礎石を安定させている。
天守の礎石より小さい。
後世に多くが抜かれている。
天守の瓦より厚さの薄い瓦
が出土する。